

日商簿記 2 級直前対策講座

過去問類題を解いた後に、
講師の追加質問に応える事で応用力を高める講座

＜工業＞個別原価計算



過去問類題を解いた後に、講師の追加質問に応える事で応用力を高める講座

(個別原価計算)

まずは第133回の5問を解いて下さい。この回は珍しく第5問で個別原価計算が一応20分でどこまで解けるかを考えてみましょう。

その後も、一応最後まで解く努力をしましょう。例えば35分で解けたとしたら、どこを改善すればスピードアップできるかを考えて下さい。

個別原価計算（過去問 133-5 類題）

最近の本試験は、難解な表現で問われることが多いので、過去問に比べて表現や資料の記し方を大幅に変更しています。

CMC 製作所では、受注生産を行っているので実際個別原価計算を採用している、次の資料を参照して、各問に答えなさい。なお、仕訳と元帳の記入は月末にまとめて行っている。また、当社の月次決算処理において売上原価に賦課される差異は、予定配賦している製造間接費に関する差異のみである

[資料]

工程管理表

製造番号	着手予定	完成予定	着手	完成	引渡
101	1/7	1/28	1/7	1/28	2/4
102	1/11	2/5	1/11	2/5	2/8
201	2/4	2/15	2/4	2/15	2/18
202	2/12	2/25	2/12	2/25	3/1（予定）
203	2/18	3/8	2/18	3/8（予定）	

原価集計表（1 月分）

	101	102	201	202	203
直接材料費	450,000	150,000	—	—	—
直接労務費	700,000	400,000	—	—	—
製造間接費	840,000	480,000	—	—	—

原価集計表（2 月分）

	101	102	201	202	203
直接材料費	—	—	200,000	300,000	400,000
直接労務費	—	200,000	800,000	500,000	300,000
製造間接費	—	240,000	960,000	600,000	360,000

2 月の元帳（勘定記入）（一部）（単位：円）

製造間接費			製 品		
間接材料費	225,000	予定配賦額 (?)	前月繰	1,990,000	当月販売
間接労務費	600,000	配賦差異 (?)	越	0	(?)
間接経費	1,354,000		当月完成	(?)	次月繰
	(?)	(?)	高	(?)	越
				(?)	1,400,000
				(?)	(?)

問1 2月の仕掛品勘定を完成しなさい

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越 ()	製 品 ()	
直接材料費 ()	次月繰越 ()	
直接労務費 ()		
製造間接費 ()		
(?)	()	

問2 2月の売上原価を計算しなさい

売 上 原 価 = 円

解答

問1 2月の仕掛品勘定を完成しなさい

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越	(1,030,000)	製 品 (4,830,000)
直接材料費	(900,000)	次月繰越 (1,060,000)
直接労務費	(1,800,000)	
製造間接費	(2,160,000)	
	(5,890,000)	(5,890,000)

問2 2月の売上原価を計算しなさい

売 上 原 価 = 円

2. では、講師の質問タイムといきましょう。

次の資料を追加します。

次の空欄を埋めなさい。

	月初棚卸高	当月仕入高	月末棚卸高
直接材料費（素材）	300,000	（ ① ）	200,000
間接材料費（補助材料費）	（ ② ）	250,000	30,000

	前月末払高	当月支払高	当月未払高
直接労務費（賃金）	（ ③ ）	1,900,000	100,000
間接労務費（給与）	130,000	700,000	（ ④ ）

製造間接費は直接作業時間を基準として配賦している。

なお、当社は前年の実績をベースに製造間接費の予算設定を行っている。

- ・ 製造間接費予算 31,104,000 円
- ・ 基準操業度 15,552 時間

経費の内訳は以下の通りである。

電力料金	130,000
保険料	24,000
減価償却費	900,000
水道料金	300,000

当月の直接作業時間を埋めなさい。

番号	102	201	202	203	合計
直接作業時間	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

2月の製造原価報告書と損益計算書を作成しなさい。

3. 次の質問です。

1. 2. の資料・解答を用いて次の仕訳を作成しなさい。

①当月の材料投入の仕訳

②当月の製造間接費の予定配賦の仕訳

③製造間接費予算のうち変動費予算は 12,441,600 円である。予定配賦で生じた差異を製造間接費勘定から、予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替えた。

④当月に掛販売した製品の 20%が返品された。(全製品の原価率は一定とする)

4. 次の条件で仕訳をして下さい。

(損益計算書などの再計算は必要ないものとする)

①当月の材料の掛け購入を行った時に 10%の材料副費を予定配賦していた。掛け購入時の仕訳を行いなさい。

②当社の材料副費は倉庫担当の給料の 10%と倉庫家賃の 20%である。各勘定科目から材料副費勘定に振り替えた。なお、当月の給料は 600,000 円、倉庫家賃は 300,000 円であった。

③材料副費差異勘定に振り替えた。

<解答用紙>

①		②		③		④		
⑤		⑥		⑦		⑧		⑨

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費		
月初棚卸高	()	
当月仕入高	()	
合計	()	
月末棚卸高	()	()
II 直接労務費		
		()
III 製造間接費		
間接材料費	()	
間接労務費	()	
電力料金	()	
保険料	()	
減価償却費	()	
水道料金	()	
合計	()	
製造間接費配賦差異	()	()
当月製造費用		()
月初仕掛品原価		()
合計		()
月末仕掛品原価		()
当月製品製造原価		()

損益計算書

(単位：円)

I 売上高		10,000,000
II 売上原価		
月初製品有高	()	
当月製品製造原価	()	
合計	()	
月末製品有高	()	
原価差異	()	()
売上総利益		()

(以下略)

3. 仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

4. 仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

<解答>

①	800,000	②	5,000	③	200,000	④	30,000		
⑤	120	⑥	480	⑦	300	⑧	180	⑨	1,080

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費

月初棚卸高 (300,000)

当月仕入高 (800,000)

合計 (1,100,000)

月末棚卸高 (200,000) (900,000)

II 直接労務費 (1,800,000)

III 製造間接費

間接材料費 (225,000)

間接労務費 (600,000)

電力料金 (130,000)

保険料 (24,000)

減価償却費 (900,000)

水道料金 (300,000)

合計 (2,179,000)

製造間接費配賦差異 (△ 2,160,000)
19,000)

当月製造費用 (4,860,000)

月初仕掛品原価 (1,030,000)

合計 (5,890,000)

月末仕掛品原価 (1,060,000)

当月製品製造原価 (4,830,000)

損益計算書

(単位：円)

I 売上高 10,000,000

II 売上原価

月初製品有高 (1,990,000)

当月製品製造原価 (4,830,000)

合計 (6,820,000)

月末製品有高 (1,400,000)

原価差異 (19,000) (5,439,000)

売上総利益 (4,561,000)

(以下略)

3.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕掛品 製造間接費	900,000 225,000	材料	1,125,000
②	仕掛品	2,160,000	製造間接費	2,160,000
③	操業度差異	259,200	予算差異 製造間接費	240,200 19,000
④	売上 製品	2,000,000 1,087,800	売掛金 売上原価	2,000,000 1,087,800

4.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	材料	1,155,000	買掛金 材料副費	1,050,000 105,000
②	材料副費	120,000	給料 倉庫家賃	60,000 60,000
③	材料副費配賦差異	15,000	材料副費	15,000